

日本僑報

日中関係・華僑華人情報専門紙

編集 / 日中交流文献資料センター 定価 / 300 円
〒333-0866 川口市芝 5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335
http://duan.jp duan@duan.jp 編集長 / 段 躍中

● 「中日友好使者」・埼玉県の土屋義彦知事を訪ねて / 第2頁

「21世紀の華人問題」北京シンポジウムに参加して / 第7頁

『祖国之鐘』出版記念パーティー盛大に開催



新潟で山東医院を経営、診療を続ける在日華僑2世の恵京仔氏が自叙伝「祖国之鐘」を上梓、11月10日に、東京のホテルニューオータニで出版記念パーティーが開催された。

会場には、中国駐日大使館代理大使の邱国洪氏(写真左)をはじめ、今回の出版を提案し、本書序文を執筆した中国駐日大使館総領事の張立国氏、村山富市元内閣総理大臣(写真右、左は著者である恵京仔博士)、上海からは上海市帰国華僑聯合会副主席潘偉娟氏ら、約120名が集まった。

恵氏は、「診療が終わったあとのわずかな時間を使って執筆したため、時間的に厳しかったが、中日国交正常化30周年の年に、どうしても出版したかった。歴史は未来に繋げていく必要があり、新華



僑の方々には、老華僑が日本で経験したことを基本にし、華僑社会をさらに拡大してほしい。在日華僑の任務は祖国に貢献し、祖国と第2の祖国、日本との懸け橋となり、祖国を統一すること。新華僑にこの任務を引き継いでほしい」と語った。

恵氏の挨拶の後、続いて邱氏が挨拶を行った。邱氏は恵氏について「在日華僑のリーダーであり、在日華僑のなかでも非常に尊敬されている。新潟華僑総会の会長を務め、華僑の権益の確保に尽力しているほか、中日の相互理解にも役割を果たすなど、多方面に渡って活躍している」と、日中両国に多大な貢献をしていると語った。

また、村山元総理大臣は「正常化30周年にふさわしい本になったのではないか。過去の歴史についてお互いが理解し、それが基礎になって日中友好があり、相互に発展していく。この本は今後の日中関係に大きな役割を果たす」と語った。

恵氏は80年、中国に初めて人工透析医療を導入。99年には、在日華僑では初めて北京市長より、北京市名誉市民賞が授与された。



為紀念中日邦交正常化30周年，在中國駐日大使館的大力支持下，日本僑報社最近連續推出知名旅日華僑華人自伝，在日本引起公範圍關注。12月8日，日本僑報社在東京舉行天津市榮譽市民、旅日華人企業家王克昌先生的自伝《商旅》首發式兼紀念會。中國駐日大使館張立國總領事(写真)稱贊為華僑華人立伝、弘揚華僑華人奮鬥精神和愛國愛鄉的情操，很有現實和歷史意義。

本報記者 段躍中攝影